

PGマルチペイメントサービス

モジュール・タイプJava版

不正防止サービス（ReD）インタフェース仕様

2024年4月22日 1.11版

- ☑ 本書の著作権は「GMO ペイメントゲートウェイ株式会社(以下、弊社という)」に帰属します。
- ☑ 本書のいかなる部分においても、弊社に事前の書面による許可なく、電子的、機械的を含むいかなる手段や形式によってもその複製、改変、頒布、ならびにそれらに類似する行為を禁止します。
- ☑ 本仕様書は加盟店様と弊社との間で締結した機密保持契約において機密情報として規定される情報です。本仕様書の取扱いは機密保持契約の規定に従ってください。
- ☑ 本書の内容は、予告なく随時更新されます。
- ☑ 本書の内容について万全を期しておりますが、万一記載もれ等お気づきの点がございましたら、弊社までご連絡ください。

目次

| | | |
|--------|-----------------------------|---|
| 1. | はじめに | 6 |
| 1.1. | 項目の説明 | 6 |
| 2. | カード決済／不正審査実行インタフェース仕様 | 7 |
| 2.1. | カード決済と同時に不正審査を行う | 7 |
| 2.1.1. | 不正審査の流れ | 8 |
| 2.1.2. | 各インタフェース仕様詳細 | 9 |

変更履歴

2015年8月4日 - 1.00版

- 初版作成

2015年10月23日 - 1.01版

- 入力パラメータを新規追加
RedCurrCd (通貨コード)
RedCustCntryCd (請求先国コード)
RedEbtUserData20 (カード登録後経過日数)
- 入力パラメータに以下の予備項目を追加
RedEbtUserData8, RedEbtUserData9, RedEbtUserData19, RedEbtUserData21, RedEbtUserData22,
RedEbtUserData23, RedEbtUserData24, RedEbtUserData25
- 入力パラメータ名称を変更
RedEbtProdunitprice → RedEbtItemCst
- 入力パラメータの桁を修正
RedItemQty : 8 → 10
- 入力パラメータの型を修正
RedAmt : Long → BigDecimal
RedItemQty : Integer → Long
RedEbtItemCst : Integer → BigDecimal
- 出力パラメータを追加
RedFraudRspMsg

2017年12月11日 - 1.02版

- 2.1.2.3. 不正審査の入力パラメータに「オーダーID」を追加

2018年2月13日 - 1.03版

- ShopPass の桁数を 8 に変更

2018年9月10日 - 1.04版

- 2.1.2.3. 不正審査の入力パラメータに「カード情報トークン」を追加
- 2.1.2.3. 不正審査の入力パラメータの「RedAcctNum」「RedCardExpDt」を予備項目に変更

2018年11月12日 - 1.05版

- パラメータの桁数について説明を追記

2019年11月18日 - 1.06版

- 2.1.2.3. 不正審査の入力パラメータに「会員ID」「サイトID」「サイトパスワード」「カード登録連番モード」「カード登録連番」を追加

2020年1月20日 - 1.07版

- 2.1.2.3. 不正審査の入力パラメータの「取引ID」、「取引パスワード」、「オーダーID」、「会員ID」の概要を修正
- 2.1.2.3. 不正審査の入力パラメータの予備項目「RedAcctNum」「RedCardExpDt」の必須欄を空白：省略可能に修正

2021年2月16日 - 1.08版

- 2.1.2.3. 不正審査の入力パラメータの「エンドユーザ IP アドレス」の桁を 15→39 に変更 (IPv6 対応)
- 2.1.2.3. 不正審査の入力パラメータの「エンドユーザ IP アドレス」の備考を修正

2021年9月22日 - 1.09版

- 2.1.2.3. 不正審査の入力パラメータの「デバイス情報」「予備項目」の備考を修正
- 2.1.2.3. 不正審査の入力パラメータの注釈※1を修正

2022年4月19日 - 1.10版

- 2.1.2.3. 不正審査の入力パラメータの「デバイス情報」の桁を4000→65535に変更

2024年4月22日 - 1.11版

- 2.1.2.3. 不正審査の入力パラメータの「リピータフラグ」の意味を「新規ユーザフラグ」に変更

1. はじめに

本書は、お客様が不正防止（R e D）サービス(以降、「不正防止サービス」と表記)の導入を行う際に、円滑に進められるようにすることを目的としています。

弊社が提供する不正防止サービスは、カード決済と組み合わせて利用することを前提としております。

カード決済につきましては、別紙「モジュールタイプ(Java 版_カード決済インタフェース仕様)」をご参照ください。

本書では、以下のような表記を使用します。

『』：処理状態または処理区分

【】：インタフェース名

1.1. 項目の説明

ここでは、本書で使用している項目をご説明します。

以下に、各インタフェースの入出力で使用している項目をご説明します。

入出力項目の定義

| No | 項目 | 説明 |
|----|-----------|----------------------------------|
| 1 | ショップ ID | 弊社が発行する加盟店様を識別する ID です。 |
| 2 | ショップパスワード | 弊社が発行する加盟店様を識別する ID に対するパスワードです。 |

2. カード決済／不正審査実行インタフェース仕様

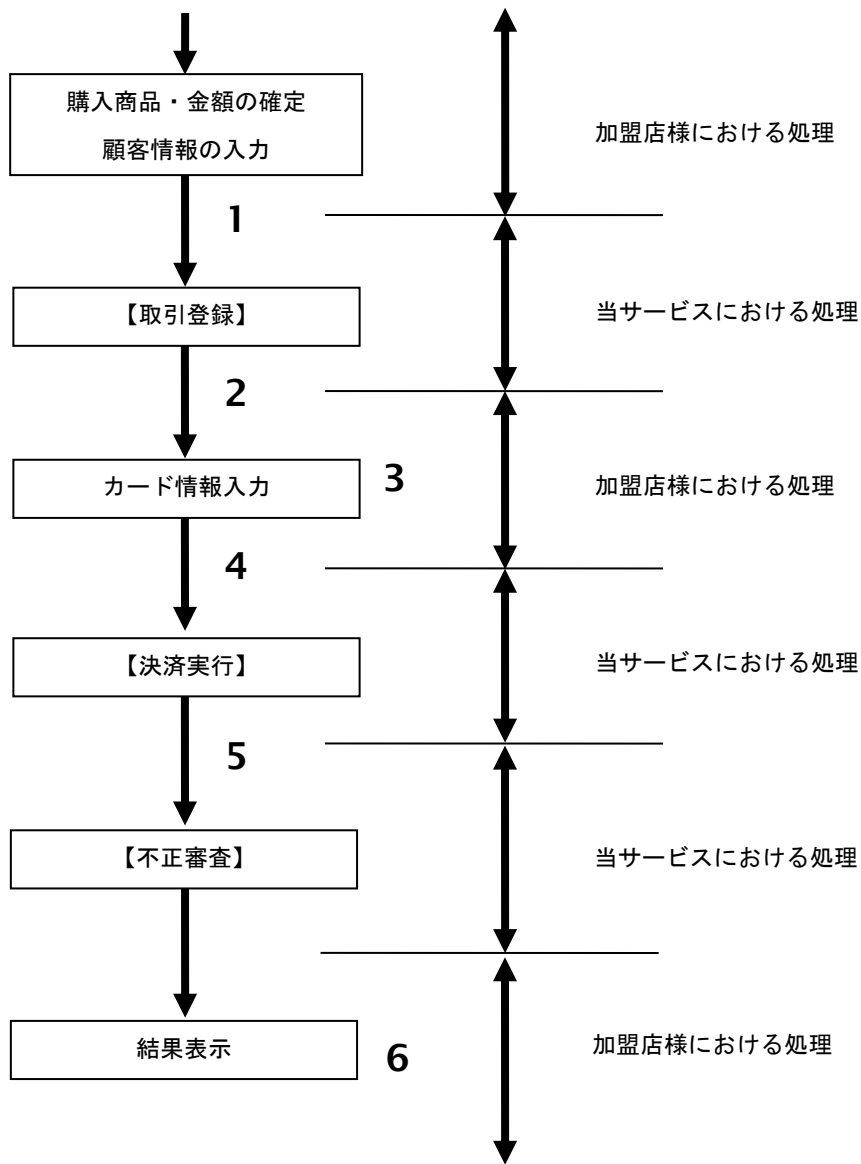
ここでは、処理の流れと使用するインタフェース詳細についてご説明します。各インタフェースの呼び出しは HTTPS 通信にて行う必要があります。

2.1. カード決済と同時に不正審査を行う

カード決済情報と顧客情報をパラメータにカード決済と不正審査を行い、決済結果・不正審査結果を受け取ります。

2.1.1. 不正審査の流れ

以下に、処理の流れをご説明します。



流れの説明

1. 加盟店様は、確定された金額をもって当サービスの**【取引登録】**を呼び出します。
2. 当サービスは、取引を識別するIDとパスワードを発行し返します。
3. 加盟店様は、お客様にカード情報を入力して頂く画面を表示します。
4. 加盟店様は、入力されたカード情報をもって当サービスの**【決済実行】**を呼び出します。
5. 当サービスは、カード情報を使用してカード会社との通信を行い、カード会社から返却されたカード決済結果を返します。
引続き、加盟店様は入力された顧客情報をもって当サービスの**【不正審査】**を呼び出します。
6. 加盟店様は、決済の結果をお客様に表示します。
また、不正審査結果に応じた対応を行ってください。

2.1.2. 各インタフェース仕様詳細

2.1.2.1. 取引登録

クレジットカード決済の「取引登録」と同一です。

インタフェース仕様については、別紙「モジュールタイプ(Java 版_カード決済インタフェース仕様)」を参照ください。

2.1.2.2. 決済実行

クレジットカード決済の「決済実行」と同一です。

インタフェース仕様については、別紙「モジュールタイプ(Java 版_カード決済インタフェース仕様)」を参照ください。

2.1.2.3. 不正審査

インタフェース概要

カード決済情報(取引情報、顧客情報)を受け取り、不正審査を行い結果を返却します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【PaymentClient】

| No | メソッド名 | 引数 | 戻り値 | 概要 |
|----|----------------------|-------------------------|--------------------------|---------------------------------------|
| 1 | doExecFraudScreening | ExecFraudScreeningInput | ExecFraudScreeningOutput | プロトコルタイプの不正審査インタフェースを使用して、不正審査を実施します。 |

【ExecFraudScreeningInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【ExecFraudScreeningOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

| No | パラメータ名 | 必須 | 型 | 桁 | 意味 | 概要 |
|----|------------------|----|------------|-----|----------------|---|
| 1 | ShopID | ◎ | String | 13 | ショップ ID | 弊社が発行する値を設定します。 |
| 2 | ShopPass | ◎ | String | 8 | ショップパスワード | 弊社が発行する値を設定します。 |
| 3 | AccessID | ● | String | 32 | 取引 ID | 【取引登録】で発行された値を設定します。 AccessID、AccessPass または OrderID で指定することが可能です。本値を設定した場合、本値により指定された取引の決済金額、カード番号、有効期限、与信結果を使って不正審査を実行します。 なお、本値を省略した場合は、RedAmt、RedEbtUserData13、Token または MemberID を設定する必要があります。 |
| 4 | AccessPass | ● | String | 32 | 取引パスワード | また、MemberID を設定する場合は SiteID、SitePass、CardSeq を設定する必要があります。 |
| 5 | OrderID | ● | CHAR | 27 | オーダーID | 決済金額(利用金額+税送料)を設定します。 Token または MemberID を設定した場合は設定が必要です。 AccessID、AccessPass または OrderID を設定した場合は、取引の決済金額が使用されるため本値は設定不要です。 |
| 6 | RedAmt | ● | BigDecimal | 10 | 決済金額 | ISO4217 の通貨コードを指定します。 省略時は"JPY"(日本円)が設定されます。 |
| 7 | RedCurrCd | | String | 3 | 通貨コード | 予備項目です。 |
| 8 | RedAcctNum | | String | 16 | 予備項目 | |
| 9 | RedCardExpDt | | String | 4 | 予備項目 | |
| 10 | RedCustTypeCd | | String | 1 | 請求先情報有無判定フラグ | 請求先顧客情報を渡す場合は、"B"を設定します。 |
| 11 | RedCustId | | String | 16 | ユーザ ID | 加盟店様サイトのユーザ ID を設定します。 |
| 12 | RedCustFname | | String | 30 | カード名義 | カード名義をローマ字で設定します。 |
| 13 | RedCustLname | | String | 30 | 請求先顧客苗字 | 請求先顧客の苗字を設定します。 |
| 14 | RedCustAddr1 | | String | 256 | 請求先顧客住所 1 | 請求先顧客の住所 1 を設定します。 |
| 15 | RedCustAddr2 | | String | 256 | 請求先顧客住所 2 | 請求先顧客の住所 2 を設定します。 |
| 16 | RedCustAddr3 | | String | 256 | 請求先顧客住所 3 | 請求先顧客の住所 3 (アパート・マンション及び部屋番号) を設定します。 |
| 17 | RedCustCity | | String | 20 | 請求先顧客都道府県 | 請求先顧客の都道府県を設定します。 |
| 18 | RedCustPostalCd | | String | 9 | 請求先顧客郵便番号 | 請求先顧客の郵便番号を設定します。 ("-"は含めないでください) |
| 19 | RedCustCntryCd | | String | 3 | 請求先国コード | 請求先顧客の ISO3166-1alpha-3 の国コードを設定します。 省略時は日本("JPN")が設定されます。 |
| 20 | RedCustHomePhone | | String | 19 | 請求先顧客電話番号 | 請求先顧客の電話番号を設定します。 ("-"は含めないでください) |
| 21 | RedCustEmail | | String | 45 | 請求先顧客メールアドレス | 請求先顧客のメールアドレスを設定します。 |
| 22 | RedCustIpAddr | | String | 39 | エンドユーザ IP アドレス | エンドユーザの IP アドレスを設定します。 IPv4、IPv6 いずれの形式も設定可能です。 |
| 23 | RedEbtPrevcust | | String | 1 | 新規ユーザフラグ | 顧客が新規ユーザの場合は"Y"、既存ユーザの場合は"N"を設定します。 |
| 24 | RedEbtTof | | Integer | 7 | ユーザ ID 登録後経過日数 | ユーザ ID を登録してからの日数を入力します。 |

| | | | | | | |
|----|-------------------|---|---------|-------|--------------|---|
| 25 | RedShipTypeCd | | String | 1 | 発送先情報有無判定フラグ | 発送先顧客情報を渡す場合は、"S"を設定します。 |
| 26 | RedShipFname | | String | 30 | 発送先名前 | 発送先の名前を設定します。 |
| 27 | RedShipLname | | String | 30 | 発送先苗字 | 発送先の苗字を設定します。 |
| 28 | RedShipAddr1 | | String | 256 | 発送先住所 1 | 発送先の住所 1 を設定します。 |
| 29 | RedShipAddr2 | | String | 256 | 発送先住所 2 | 発送先の住所 2 を設定します。 |
| 30 | RedShipAddr3 | | String | 256 | 発送先住所 3 | 発送先の住所 3 (アパート・マンション及び部屋番号) を設定します。 |
| 31 | RedShipCity | | String | 20 | 発送先都道府県 | 発送先の都道府県を設定します。 |
| 32 | RedShipPostalCd | | String | 9 | 発送先郵便番号 | 発送先の郵便番号を設定します。 ("-"は含めないでください) |
| 33 | RedEmpCompany | | String | 30 | 加盟店名 | 加盟店名を半角英数(ローマ字)で設定します。 |
| 34 | RedEbtDeviceprint | | String | 65535 | デバイス情報 | iovation より取得した文字列を設定します。(※1) |
| 35 | RedEbtUserData8 | | String | 256 | 予備項目 8 | 予備項目です。 |
| 36 | RedEbtUserData9 | | String | 256 | 予備項目 9 | 予備項目です。 |
| 37 | RedEbtUserData11 | | Integer | 9 | 再購入日数 | 前回の購入からの経過日数を設定します。 |
| 38 | RedEbtUserData12 | | Integer | 9 | 過去購買回数 | これまでに購入した回数を設定します。 |
| 39 | RedEbtUserData13 | ● | String | 30 | 与信結果 | 与信結果のエラー詳細コードを設定します。 (与信 OK の場合は空白を設定してください) Token または MemberID を設定した場合は指定が必要です。 AccessID、AccessPass または OrderID を設定した場合は、取引の値が使用されるため本値は設定不要です。 |
| 40 | RedEbtUserData15 | | String | 1 | 郵便局・営業所留フラグ | 郵便局留め、宅配営業センター留め、コンビニエンスストア留めの場合は"Y"、それ以外は"N"を設定します。 |
| 41 | RedEbtUserData16 | | String | 30 | 郵便局・営業所名 | 郵便局留め、宅配営業センター留め、コンビニエンスストア留めの場合は、名称を設定します。 |
| 42 | RedEbtUserData17 | | Integer | 9 | ユーザポイント残高 | ユーザのポイント残高を設定します。 |
| 43 | RedEbtUserData18 | | Integer | 9 | カード登録変更回数 | ユーザのカード情報の変更回数を設定します。 |
| 44 | RedEbtUserData19 | | String | 30 | 予備項目 19 | 予備項目です。 |
| 45 | RedEbtUserData20 | | Integer | 9 | カード登録後経過日数 | カードを登録してからの日数を入力します。 |
| 46 | RedEbtUserData21 | | String | 30 | 予備項目 21 | 予備項目です。 |
| 47 | RedEbtUserData22 | | String | 30 | 予備項目 22 | 予備項目です。 |
| 48 | RedEbtUserData23 | | String | 30 | 予備項目 23 | 予備項目です。 |
| 49 | RedEbtUserData24 | | String | 30 | 予備項目 24 | 予備項目です。 |
| 50 | RedEbtUserData25 | | String | 30 | 予備項目 25 | 予備項目です。 |

| | | | | | | |
|----|------------------|---|----------------|-----|----------------|--|
| 51 | RedItemList | | List | | 商品情報リスト | |
| | RedItemHolder | | RedItem Holder | | 商品情報 | |
| | RedItemQty | | Long | 10 | 商品個数 | 商品の個数を設定します。 |
| | RedItemProdCd | | String | 12 | 商品識別コード | 商品の識別コードを設定します。 |
| | RedItemManPartNo | | String | 30 | 商品 IAN/JAN コード | 商品の IAN/JAN コードを設定します。 |
| | RedItemDesc | | String | 26 | 商品カテゴリ | 商品のカテゴリを設定します。 |
| | RedEbtItemCst | | BigDecimal | 8 | 商品単価 | 商品の単価を設定します。 |
| | RedItemGiftMsg | | String | 160 | 商品名 | 商品の名称を設定します。 |
| 52 | ExecMode | | String | 32 | 実行オプション | 以下の値を設定することにより実行動作が変わります。 “CHECK_OVERSEA”：海外発行カードの場合のみ不正審査を実行します。(※2) 国内発行カードの場合は不正審査を行わず、出力パラメータはすべて空白を返します。 |
| 53 | Token | ● | CHAR | - | カード情報トークン | カード番号トークン化サービスで取得したトークンを設定してください。 トークンが指定された場合、トークン取得時に指定したカード番号・有効期限が利用されます。 AccessID、AccessPass または OrderID または MemberID を設定した場合は、本値は設定不要です。 |
| 54 | MemberID | ● | CHAR | 10 | 会員 ID | カード登録済の会員 ID を設定してください。 会員 ID が指定された場合、会員 ID に登録済のカード番号・有効期限が利用されます。 AccessID、AccessPass または OrderID または Token を設定した場合は、本値は設定不要です。 また MemberID を設定する場合は SiteID、SitePass、CardSeq を設定する必要があります。 |
| 55 | SiteID | ● | CHAR | 13 | サイト ID | 弊社が発行する値を設定します。 MemberID を設定した場合、本値は必須です。 |
| 56 | SitePass | ● | CHAR | 10 | サイトパスワード | 弊社が発行する値を設定します。 MemberID を設定した場合、本値は必須です。 |
| 57 | SeqMode | | CHAR | 1 | カード登録連番モード | 以下のいずれかを設定します。 0：論理モード(デフォルト) 1：物理モード MemberID を設定した場合に、本値を指定することができます。 |
| 58 | CardSeq | ● | NUMBER | 4 | カード登録連番 | 不正審査に使用するカード登録連番を設定します。 MemberID を設定した場合、本値は必須です。 |

必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時 ×：設定不要

※1：RedEbtDeviceprint について

本値は加盟店様サイトにアクセスしたブラウザの情報です。

本値を取得するには、スクデット社が提供している「4-1_デバイス情報取得ガイド」を参考に設定をお願いいたします。

※2：海外発行カードについて

弊社が保有する国内発行事業者の BIN（カード番号プレフィックス）に該当しないカード番号を海外発行カードと判断します。

※3：桁数について
 パラメータの桁数は UTF-8 に換算したバイト数です。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

| No | パラメータ名 | 必須 | 型 | 桁 | 意味 | 概要 |
|----|----------------|----|-----------|-----|-----------------------------|--|
| 1 | ErrList | - | List | - | エラー情報リスト | エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報をリストで保持します。 |
| | ErrHolder | - | ErrHolder | - | エラー情報 | エラー発生時のみ値を返却します。 内部でエラーコード、エラー詳細コードを保持します。 |
| | ErrCode | - | String | 3 | エラーコード | エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報内に収められます。 |
| | ErrInfo | - | String | 9 | エラー詳細コード | エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報内に収められます。 |
| 2 | RedReqId | - | String | 16 | ReD Request ID | ReD Shield 上でのトランザクションのユニーク ID |
| 3 | RedOrdId | - | String | 16 | Order/TransactionID | ReD Shield 上でのトランザクションの識別子 |
| 4 | RedStatCd | - | String | 10 | Status Code | 詳細なステータスコード 詳細は、別紙「ReD コード一覧」を参照してください。 |
| 5 | RedFraudStatCd | - | String | 9 | | ReD Shield の判定結果 ACCEPT：不正でない DENY：不正 CHALLENGE：疑わしい NOSCORE：判定不能 ERROR：内部エラー ENETFP：接続不可 EIVINF：リクエスト値不正 |
| 6 | RedFraudRspCd | - | String | 4 | Red Shield Response Code | 詳細な判定コード 詳細は、別紙「ReD コード一覧」を参照してください。 |
| 7 | RedFraudRspMsg | | String | 512 | Red Shield Response Message | 予備項目です。 (空文字が設定されます) |
| 8 | RedFraudReclId | - | String | 32 | ReD Shield Transaction ID | ReD Shield のトランザクション ID です。 CSI の検索画面で使用します。 |

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】